校長室から
(H30年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 2
平成30年4月10日(火)発行

東奈良小の「あ・い・う・え・お」

入学式で1年生に、東奈良小の「あ・い・う・え・お」の話をしました。

「あ」は、「あいさつができる子」

・毎日、明るく、元気な声で、
あいさつをしましょう。

あいさつは、人と人とが仲良くなるための第一歩です。家族や先生、友だち、地域の方にもあいさつをしましょう。「おはようございます」「さようなら」人に親切にされたら「ありがとうございます」人に迷惑をかけたなら「ごめんなさい」と言うことが大切です。

「い」は、「いっしょうけんめい勉強する子」

・勉強が好きな子
になりましょう。

授業中は先生のお話をよく聞き、一生懸命頑張りましょう。家に帰ってもその日の復習を必ずして、学力をつけましょう。

「う」は、「うんどうが好きな子」

・元気に外で遊ぶ子になってほ
しいです。

体育の授業や運動が大好きになり、天気の良い日は休み時間にたくさん外で遊びましょう。お日様の光をいっぱい浴びると体が丈夫になります。外で遊ぶとお友だちもいっぱいできます。遊びにはルールがあって、知らず知らずのうちに、ルールを守れる良い子になれます。いいことがいっぱいありますよ。

「え」は、「えがおでやさしい子」

・いつも笑顔で、人に優しい子
になりましょう。

友だちが悲しいと思うようなことをしたり、「チクチク言葉」を言ったりしないで、人には優しく心が温かくなるような「フワフワ言葉」を使って仲良く生活し、「たのしい」学校にしましょう。

「お」は、「おそうじをがんばる子」

・おそうじを嫌がらずに取り
組みましょう。

教室や廊下、自分の担当するそうじ場所をピカピカにしましょう。とても気持ちのいいものです。そうすると、心もピカピカになります。

本校のめざす子ども像は、

・明るく 強い子ども ・よく考え 努力する子ども
・やさしく 礼儀正しい子ども ・地域を 愛する子ども

ですが、この「あいさつ・いっしょうけんめい・うんどう・えがお・おそうじ」を合言葉に、子どもたちと共に努力していきたいと考えています。

進級した今の時期は、いろいろな意味で成長するよいチャンスです。人に必要とされる役割があることで子どもたちは成長します。張り切っている今の気持ちを大切に、ちょっとむずかしいことにもチャレンジしながら、これまでより少し成長した新しい自分を創ってほしいです。

熱い情熱で、地道な努力を続けよう

みなさんは、伊能忠敬(いのう ただたか)という人を知っていますか。歴史好きな人は知っているかもしれませんが、6年生の社会(歴史)で習いますが、江戸時代に今の千葉県で生まれ、日本中を歩いて測量し、精密な日本地図を作った人です。もともと商いをしていましたが、49歳のときに息子に店を任せ、50歳で測量や天文学の勉強をするために江戸に移りました。

現在の平均寿命とは違い、江戸時代の平均寿命は35~40歳ほどと言われています。そのような時代に50歳から新たな学問を始め、17年にわたって日本中を測量し続けました。その後、弟子たちによって「大日本沿海輿地全図」(だいにほんえんかいよちぜんず)、いわゆる「伊能大図」(いのうだいず)が完成しました。これは後に国家機密ともなったほどの日本地図です。江戸時代の末期にアメリカのペリーが開国を迫って日本にやってきたときに、この日本地図を見て、あまりの精密さに驚いたとも伝えられています。73歳でこの夜を去るまでに大きな偉業を成し遂げた伊能忠敬は、熱い情熱と地道な努力の大切さや生きざまを私たちに示してくれました。

現在の日本は、少子高齢化が進み、大きな社会問題となっています。また、自動運転の車などの開発や、工場やホテルなどにもロボットが導入され、人間の仕事を担う時代となってきました。2030年には、人間と同様にさまざまな状況で知性を働かせることができる人工知能が開発され、多くの仕事が人工知能を持ったロボットなどに担われることになると言われています。

このような時代に生きていくみなさんは、今の気持ちや置かれている環境だけで判断することなく、将来を見据えたなかで、伊能忠敬のように夢と情熱をもって地道に努力を積み重ねていくことが大切ではないでしょうか。

新年度を迎え、これから自分自身の良さや日本の良さをしっかりと理解し、未来に羽ばたける人間となってください。